

# 皆さんの意見を次期計画に

## 高齢者に関するアンケート

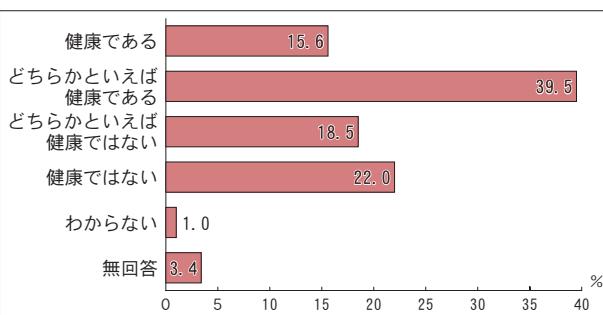
| 調査対象者     | 送付数<br>(人) | 回答数<br>(人) | 回収率<br>(%) |
|-----------|------------|------------|------------|
| 一般高齢者     | 1,500      | 726        | 48.4       |
| 在宅サービス利用者 | 1,069      | 530        | 49.6       |
| 施設サービス利用者 | 385        | 169        | 43.9       |
| 介護支援専門員   | 40         | 32         | 80.0       |
| 計         | 2,994      | 1,457      | 48.7       |

市では、高齢になつても介護が必要にならないよう、健康づくりや介護予防事業に力を入れるとともに、介護が必要になつても安心した暮らしを送ることができるよう、「旭市高齢者健福計画・第3期介護保険事業計画」に基づき、策定に向けた作業に取り組んでいます。現在、事業を推進するため、先般、アンケート調査を行いましたので、その主な結果をお知らせします。

### 1 現在の健康状態 (一般高齢者)

問 現在のご自分の健康状態どのように思われますか。

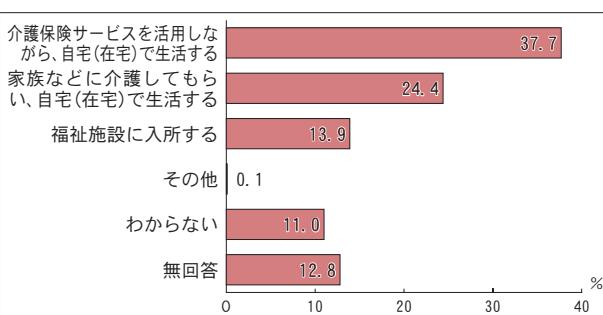
⇒ 「健康である」、「どちらかといえば健康である」と回答した人は5割を超えていてが、健康ではないと考える人も約4割います。



### 2 介護が必要になった場合の生活 (一般高齢者)

問 介護が必要になった場合、どのように生活したいとお考えですか。

⇒ 「介護保険サービスを活用しながら、自宅(在宅)で生活する」が最も多く、次いで「家族などに介護してもらい、自宅(在宅)で生活する」となっています。



### 3 優先すべき高齢者福祉施策 (一般高齢者)

問 今後、市が取り組むべき高齢者に関する福祉施策として、次のうちどれを優先して充実させるべきだとお考えですか。(複数回答形式)

⇒ 「在宅の高齢者を支える福祉サービスの充実」を優先すべきとの回答が最も多くあげられ、次いで「介護予防(要介護・要支援状態にならない)対策の充実」、「健康の増進や生きがいづくりなどへの支援」、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」があまり差がなくあげられています。



実施時期 平成19年12月  
〔調査結果の見方〕

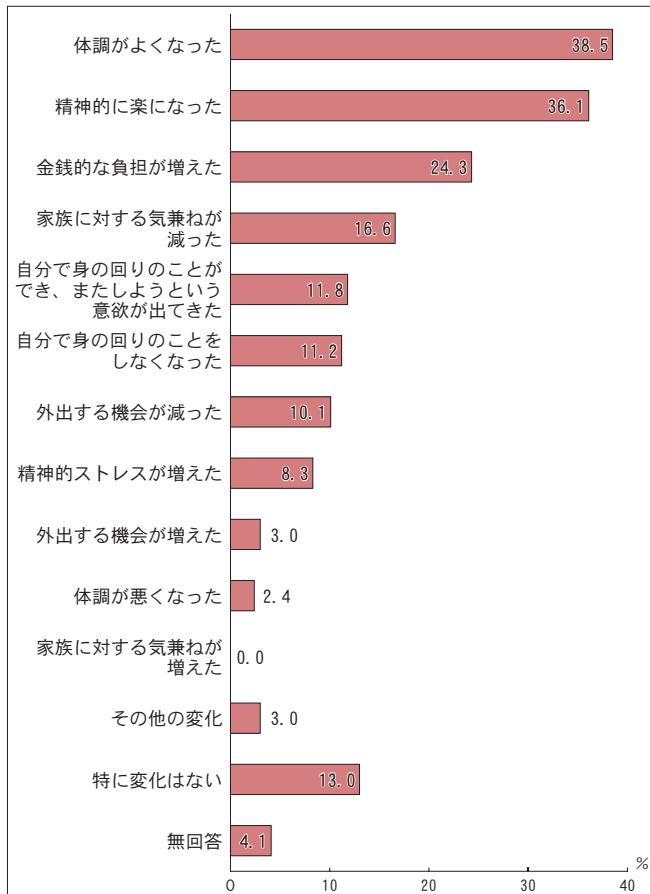
- ・ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える。

## 6 施設に入所したことによる変化

(施設サービス利用者)

問 施設に入所したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。(複数回答形式)

⇒ 「体調がよくなった」、「精神的に楽になった」との内容が上位にあげられましたが、一方で4人に1人が「金銭的な負担が増えた」としています。



**次期計画の策定委員を公募します**

旭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にあたり、平成20年度に策定委員会を設置します。委員会は、保健、医療、福祉の関係者および40歳以上の介護保険被保険者の代表者によって組織され、会議を年3回程度開催して、ご意見を伺います。

募集資格／本市に1年以上住有所する40歳以上の方

応募資格／本市に1年以上住所有する40歳以上の方

募集期間／(火)3月3日(月)18日

募集人数／3名

申し込み方法／高齢者福祉課

選考方法／書類選考

結果通知／本人あて郵送

申込方法／郵送、ファックス、メール可

※場合により面接

FAX 62-6212-5300-8

高齢者福祉課介護保険班

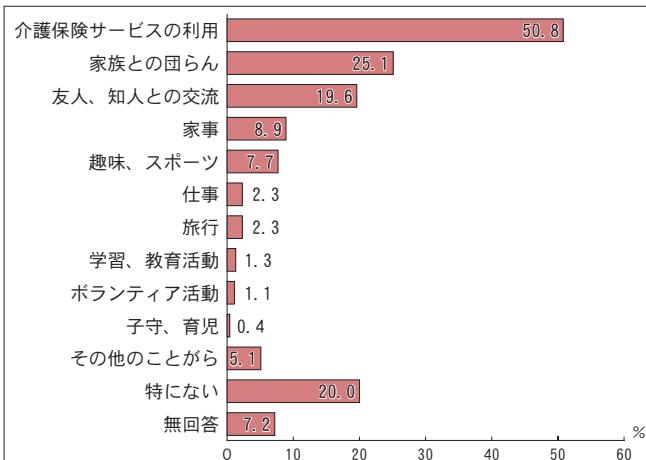
kaiogo@city.asahi.lg.jp

## 4 生きがいを感じること

(在宅サービス利用者)

問 どのようなことに生きがいを感じていますか。(複数回答形式)

⇒ 「介護保険サービスの利用」が過半数を超えて最も多くなっています。次いで「家族との団らん」、「特ない」、「友人、知人との交流」の順になっています。

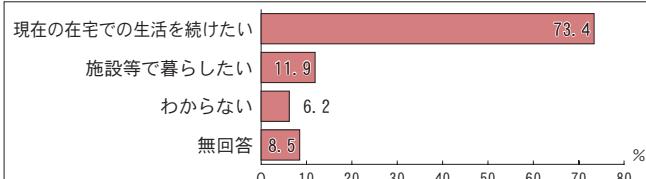


## 5 今後の生活について

(在宅サービス利用者)

問 今後の生活についてどのようにお考えですか。

⇒ 「現在の在宅での生活を続けたい」と考えている人が多数を占め、「施設等で暮らしたい」との回答は1割強にとどまっています。



## 7 サービス種類の増加と負担

(共通)

問 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、それぞれの市町村で新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることになりますが、このことについてどう思いますか。

⇒ サービスの種類を増やすことと負担については、一般高齢者、在宅サービス利用者、施設サービス利用者、いずれも「今のサービスの種類でよい」が最も多くなっていますが、一般高齢者では「わからない」とする人も同程度います。

